

令和3年度 セルフモニタリング報告書

令和4年 4月 30日

施設名	勇払マリーナ
指定管理者名	株式会社ベルポート北海道
所管課名	総務部 港湾政策室 業務経営課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画に従い、管理運営方針をつくり具体的な目標を掲げて取り組み、概ね適切に施設の管理運営が行われた。	A B C D E
利用者の増加、利用率の上昇、利便性の向上などの目標は達成されたか。	年間保管契約数 令和2年度168隻 令和3年度142隻 -26隻15%減 利用率について 出帰港定数2,357回 15%減。年間保管契約数の減少は、利用者の高齢化、コロナ過による経済が要因と思われるまた、気候変動により釣果が変化釣れなくなっている様子が伺われた。	A B C D E
自主事業は計画どおり行われたか。	免許教室、船検代行、船舶修理事業、レンタルポート、マリン商品販売、燃料販売、商品販売、役務収入、自販機設置を行いほぼ計画どおり行われている。また海上釣り堀のプレオープンを実施した。コロナ禍のため牡蠣フェスは実施できなかった。	A B C D E
地域や関係機関等と協力・連携した取組が行われていたか。	コロナ過の影響でトライアスロン大会、勇払納涼祭の中止で地域と連携した取組みが出来なかった。	A B C D E
2 利用者への対応		
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設利用者に郵送でアンケート調査を行ったり、またエントランス・Bヤードハウス内に意見・要望等を投函できる意見箱を設置し、利用者の意見を把握。意見のハード面は適宜管理組合へ報告、修繕等を依頼し、利用者のマナーに関する意見は封書等でルールの再確認をしてもらうよう通知している。	A B C D E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。	ソフト面においては、アンケート結果から十分に行われていると思われる。ハード面においては、苫小牧港管理組合が、震災被害や老朽化など復旧および修繕等して頂いている。	A B C D E
天候・修理・工事等による利用制限の説明・周知は適切に行われたか。	管理棟エントランスやBヤードハウス、施設内4か所の人用ゲートの各掲示板に案内を貼り出した他、ホームページやFacebookと通して利用者へ周知した。	A B C D E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。また、その取組は十分か。	需用費について経費の低減に努めましたが、例年がない大雪だったため車用出入口のロードヒーティング稼働時間増による電気代、暖房用の灯油代などがかさみました。令和2年度は、需用費合計7,371千円 令和3年度は、8,758千円となっています。	A B C D E
収入増加のための取組はされているか。	新規利用者の加入を促進するためビジター利用者への声掛け、自主事業の実施などにより収入増加の取組を行っている。事例として、免許教室のPRの為の新聞広告や、声掛けによる船の燃料販売に力を入れた。	A B C D E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	再委託として防火設備点検、電気設備点検、フォークリフト及びタイヤショベル自主特定点検、給油地下タンク気密法定点検、館内床清掃、上下架設備、汚泥抜き取り等があり、事業計画書に記載されている内容で実施。その支出経費は最少に抑えている。	A B C D E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	人員配置及び職員の管理体制は、適正に行われている。	A B C D E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか。(研修等)	自走式クレーン運転研修会、フォークリフト運転研修会、普通救命講習、2級船舶講習会、1級船舶講習会、自衛消防訓練及び随時にタイヤショベル運転研修や桟橋保守点検研修などを行っている。また、3年度は水中ドローン研修にも参加し、インストラクターの資格を取った。	A B C D E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか。(使用料の減免、還付含む)	施設利用は、会員及びビジターとも平等な待遇を行っている。また、使用料の減免等は行っていない。	A B C D E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	利用者等の個人情報管理及び鍵の管理については適正に保管及び管理している。	適正 要改善
収支の状況に不適切な点はないか。(収支計画との乖離など)会計処理は適切か。	会計処理については、会計ソフトを本社と共有しマリーナ事業所で決裁後、本社でも決裁を行っており2重チェックで不正な経理を防止している。	適正 要改善

施設・設備等の法定点検及び保守は適正に行われているか。	法定点検は、消防設備点検、電気設備点検、船舶(管理艇)の定期検査を実施。	○ 適正 要改善
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	関係書類は適性に管理しており、また備品についても適性に管理している。	○ 適正 要改善
安全対策(事故防止等)は十分だったか。	日常として安全対策のため自衛訓練、普通救命講習 また安全講習会 の実施や、事故防止のための作業マニュアルにより徹底している。	A B C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	必要な関係法令・協定書等を洗い出し、その都度確認をしながら管理をしている。	○ 適正 要改善
管理組合と指定管理者との間で十分に連絡、連携が図られているか。	指定管理者からその都度事故やイベント時の届出等の報告が行われており、また必要に応じて打合せを行っており管理者と連絡・連携が図られている。	A B C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員雇用については、採用条件もあり他市在住者を雇用している。現在は募集の際、市内在住者に向け募集をかけている。資材調達について常に低廉な価格の物を購入に努めている。地域貢献としてイベントの開催で、各団体等の釣り大会、トライアスロン大会の後援等に協力している。勇払商工振興会の一員である。	A B C・D・E

A	目標、事業計画を大幅に上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
B	目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
C	概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
D	目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、管理運営において一部不適切な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
E	目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において、改善が必要である。

総合評価 A・**B**・C・D・E (該当するものに○)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

施設管理運営業務、利用者の意見・要望・苦情対応等、事業計画通り行えている。